

平成 18 年度細菌検査報告

細菌科

当科で実施した食品の細菌検査の件数を表 1 に示す。県内一般食品業者からの委託に加えて、FAZ に関係した冷凍食品等の検査を実施した。

次に、臨床材料由来の細菌検査を表 2 に示した。委託

検査は感染症発生動向調査事業における病原体検査で糞便・咽頭ぬぐい液等の分離同定検査が主であった。また、行政検査では保健所からの依頼により食中毒発生時のセレウス菌、黄色ブドウ球菌および腸炎ビブリオの分離同定、および毒素遺伝子の遺伝子増幅検査等を実施した。また、食中毒由来のサルモネラ属菌およびカンピロバクター属菌の血清型別を実施した。

表 1 食品等の細菌検査件数

	検体数	一般細菌数	大腸菌群 (含 E.coli)	黄色 ブドウ球菌	サルモネラ	カンピロ バクター	腸 炎 ビブリオ	病原大腸菌 O157	残留動物用 医薬品	その他
魚介類とその加工品	48	42	47	28	4		19	3	12	セレウス 1
食肉とその加工品	4	4	4	4	4	4				クロストリジウム 2
乳とその加工品	8	8	8		2			2		
穀類とその加工品	19		19	2	2			2		
冷凍食品	9	8	9				7			
複合調理食品	11	11	13	9	2		1			
パンおよび菓子類	38	19	41	18	4			1		
容器包装詰加圧加熱 殺菌食品	4									恒温試験細菌試験 4
清涼飲料水	3		3							
計	144	92	144	61	18	4	27	8	12	

表 2 平成 18 年度月別細菌検査件数（臨床材料由来等）

検査項目	月												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
赤痢菌	0	9	6	7	6	12	13	14	14	14	14	28	137
チフス菌	0	9	6	7	6	12	13	13	14	14	14	28	136
パラチフス A 菌	0	9	6	7	6	12	13	13	14	14	14	28	136
サルモネラ菌	0	9	6	7	6 2	12	13	14	14	14	14	28	137 2
コレラ菌	0	9	6	7	6	12	13	13	14	14	14	28	136
腸炎ビブリオ	0	9	6	7	6 33	12	13	13	14	14	14	28	136 33
腸管出血性大腸菌	0	9	8	7	6	12	13	14	14	14	14	28	139
下痢原性大腸菌*1	0	9	6	7	6	12	3	13	14	14	14	28	126
カンピロバクター	0	9	6	7	6	12	13 2	13	14	14	14	28	136 2
黄色ブドウ球菌								20					20
セレウス菌									14				14
溶血性連鎖球菌	0	3	2	4	6	3	5	3	5	5	3	9	48

*1 腸管出血性大腸菌を除く

上段：委託
下段：行政